

# 香川大学教育学部からの出前講座⑦（1年） を実施しました

10月29日、香川大学教育学部から小方直幸先生をお招きし、「16歳からの社会学」という題で、教育創造コースの1年生にご講義いただきました。



## 予習課題

- ① あなたにとって幸せに生きるために必要な条件を1つだけあげるとすれば何ですか？
- ② あなたが坂出高校に進学したのは自由の結果だと思いますか、またそう考えた理由は？

この問いの答えを考えて、講義に臨みました。



幸せの条件は「自由」であること。「自由」とは、選べること。選べることは自由で、選べないことは不自由。その「自由」に必ずくっついてくるもの、選択には結果があり、責任が伴う。自由は何も制約がないことではない。

あなたにとって「最大の不自由」はなんですか？

最も選択できないこと、それは「自分自身という存在。」「不自由+必然」である自分を「自由+選択の結果」と錯覚できるのは、他者が自分に参与してくれるから。他者が自分を自由の選択の結果として「承認」してくれるから、自分は自由だと勘違いできる。他者からの承認があれば、自分に「尊厳」が生まれる。自分が承認してもらえたら、次は相手を承認し、自分だけでなく相手も自己尊厳を得て自分も他者も生きていいと思えるようになる。

今すぐは理解できなくても、明日、明後日、1年後、大学生になったら、社会に出たら理解してほしいと思うお話でした。先生、ありがとうございました。

